



# どうしたらいいの？

《北消防署の救急救命士さんに聞きました》

「家の中は安全」なんて思っていませんか？  
実は、思いもよらないところに危険が潜んでいるものです！**日常生活の中で起きるかもしれない“まさかの事故”**救急車は呼んだ方がいいの？ どう対処すればいいの？  
といったママたちの疑問を、救急救命士さんに聞いてみました。



## 家で起きる事故

## ワースト3

乳幼児に起きる事故のワースト3は「ころぶ」「おちる」「たべる」となっています。大切な我が子を事故から守るために、しっかりと対策しましょう！

1位



### ころぶ

風呂場・段差・洗面所など

風呂場や洗面所などの濡れている所や、ちょっとした段差などで転ぶことがあります。

2位



### おちる

階段・窓・ベランダなど

階段には転落防止の柵を設置したり、窓際やベランダには踏み台になる物を置かないようにしましょう。

3位



### たべる

たばこ・薬・電池など

口に入る物は、手の届かない所に置き、飲み込んでしまった場合はすぐに医療機関へ。



救急救命士の林さん

救急隊はお子さんの状態を観察しながら、保護者から病気やけがの状況を聞いて、医療機関を選定し、照会しています。お子さんの異常に気付いた時は、**慌てずに様子をよく観察しましょう。**

「小児救急ハンドブック」は、母子健康手帳交付時に配布され、ホームページでも内容を見ることができます。



救急車は呼ぶべき？ 誤飲の対処法は？

お子さんが急にせき込んで苦しそうな表情の時は、異物の誤飲・窒息が疑われます。次のような症状がある場合は、救急車を呼びましょう。

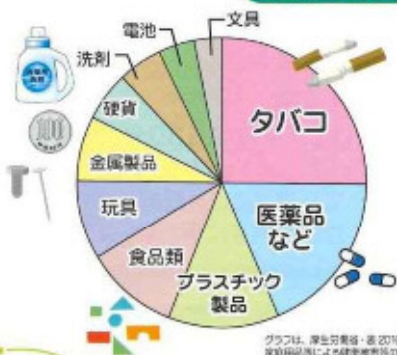
- ・のどに物がつまった
- ・けいれんを起こしている
- ・意識がない
- ・顔色が悪く、呼吸の仕方がおかしい
- ・嘔吐がとまらない



異物を飲み込んだ可能性がある場合は口の中を見て、取り除けたら取ってください。また、下記の方法で吐かせることもできます。ただし、臓器を傷つけている場合があるので、実施したら必ず医療機関を受診してください。また、タバコや電池、金属類などを飲み込んだ場合は救急車を呼ぶか、医療機関を受診しましょう。

- ・指を喉の奥に入れて舌を押し下げる
- ・頭を下に背中を強く叩く（背部叩打法）
- ・子どものみぞおちに手があたるように後ろから上後方へ引き上げる（腹部突き上げ法）
- ・ひざを立てて子どものお腹を乗せ、背中を強く叩く（子どもの口は開けたままで）

乳幼児の誤飲で多い物



手にする物は何でも口にする！

乳幼児は手にする物は何でも口に入れてしまいます。誤飲は液体が多く、洗剤やタバコ、ボタン電池などもよく誤飲されます。トイレットペーパーの芯の筒を通る物は、子どもの口に入ると言われています。普段から、子どもの手の届く所に物を置かないようにしましょう。

一メモ

誤飲と誤嚥（ごえん）の違い

「誤飲」は、字のごとく誤って飲む、食道に入ること、「誤嚥」は、気道に入ってしまうことをいいます。誤飲・誤嚥ともに、1歳～3歳過ぎ位までが多く、空気のとおり道である気道を塞いでしまうと窒息し、死に至ることもあります！口をもごもごさせていたら中を見て、取り除いたら取り除きましょう。

誤嚥素材・・・ピーナッツ、ミニトマト、ぶどう、アメ

らっか  
落下

## ベッドやソファから落ちた場合

小児救急ハンドブック  
P.26～27

意識はある？ 吐き気がある？ 痛みが強い？

落下して頭部を打った後に意識がなかったり、次のような場合は、救急車を呼びましょう。

- ・直ぐに泣かない
- ・痙攣している
- ・うとうとしている
- ・意識がおかしい



すぐに泣いて意識がはっきりしており、食欲がある場合は、患部を冷やして安静にし、入浴は控えましょう。2、3日は注意深く観察し、吐き気や痛み、普段と様子が違う場合は、脳外科を受診しましょう。

一口メモ

「たんこぶが出来れば大丈夫」は、本当？

頭の中がどうなっているかは外見では判断できません。様子をよく見て、普段と違う様子がないかをチェックしましょう。

やけど  
火傷

## 火傷をしてしまった場合

小児救急ハンドブック  
P.25

救急車は呼ぶ？ 応急処置の方法は？



火傷した範囲が“大人の手の平よりも大きい”“皮膚が黒く焦げている”“白くなっている”場合は救急車を呼びましょう。

また、水道水又は氷水などで10分以上（可能なら30分）患部を冷やしましょう。（冷やし過ぎに注意）衣類の上から冷やしても大丈夫です。このとき、流水で水ぶくれを潰すと雑菌が入って化膿することがあるので流水は弱めにし、水ぶくれがつぶれたら消毒をして患部を清潔に保ちましょう。

けが  
怪我

## 擦り傷をつくった場合

傷のある部位（手足や頭部）で処置の仕方は変わるの？

傷の程度で変わりますが、擦り傷切り傷は患部を消毒して清潔なガーゼ等で被覆し保護します。

## 痙攣している場合

### 救急車は呼ぶべき？ 誤飲の対処方は？

どのような感じで痙攣しているかを見てください。このとき、慌てて抱き上げて揺すったり、名前を呼びながらほっぺを叩くのは逆効果です。次のような場合は救急車を呼びましょう。

- ・10分以上も痙攣をしている
- ・痙攣が治まっても再び繰り返す
- ・痙攣と共に嘔吐を繰り返す

吐いたものが気道に入らないように体を横向きにし、呼吸の確保のため衣類を緩めてあげましょう。

- ・痙攣が治まった後も、呼びかけなどによる反応が弱く、様子がおかしい
- ・痙攣が治まっても、体の一部が麻痺している

短い痙攣であれば命に関わることは極めて稀なことです。痙攣が起きても慌てずに、落ち着いて対応しましょう。



一口メモ

### 熱性痙攣って？

発熱時に痙攣を起こすもので、乳幼児では比較的よく見られます。ほとんどは5分以内に痙攣は治まり、その後しばらく眠り、手足のまひや意識障害など通常残りません。発熱したときは、首や脇、そけい部を冷やして体温を上げないようにしましょう。

## 傷口から血が止まらない場合

### 今更だけど止血の仕方が分からない・・・

傷が深く、血が止まらない場合は、直接圧迫止血が基本です。傷口を清潔なガーゼやタオルで血が止まるまで圧迫します。また、頭部は血管が多いので、たとえ小さな傷でもしっかりと圧迫して止血しましょう。



### 夜間に救急車を呼ぶ？ 病院に行く？

けがや病気の症状が軽く救急車を呼ぶまでもないな？と思ったときは、各消防署へ連絡するか、専門の相談機関を利用するとよいでしょう。

迷ったときは“小児救急医療電話相談”

☎ #8000

または025-288-2525

事故が起きないようにする対策も必要ですが、お子様が小さいうちは、**目を離さないことが一番大切**です。

